



2021年2月3日

各 位

会社名	株式会社ダイセル
代表者名	代表取締役社長 小河 義美
(コード番号	4202 東証 市場第一部)
問合せ先	事業支援本部 I R 広報グループ リーダー 廣川 正彦
(TEL	03-6711-8121)

### (訂正)「2021年3月期 第3四半期決算説明資料」の設定変更について

本日 13:30 に開示いたしました「2021年3月期 第3四半期決算説明資料」の設定に誤りがあり、印刷ができない設定となっていましたので、設定を変更した資料を改めて開示いたします。なお、資料の内容については変更ございません。

以 上

# 2021年3月期第3四半期 決算説明資料

2021年2月3日

  
Sustainable Value Together

株式会社 **ダイセル**

## 目次

<b>1. 2021年3月期 第3四半期決算</b>	<b>P. 3</b>
<b>2. 2021年3月期 通期業績予想</b>	<b>P. 6</b>
<b>3. トピックス</b>	<b>P. 8</b>
<b>4. 参考資料</b>	<b>P. 10</b>

## 2021年3月期 第3四半期業績（累計）

（単位：億円）

	20/3 3Q実績	21/3 3Q実績	前年同期比		通期予想 (※)	進捗率 %
			増減	%		
売上高	3,128	2,814	△ 314	△ 10.0%	3,680	76.5%
営業利益	226	187	△ 39	△ 17.3%	220	85.1%
経常利益	243	202	△ 41	△ 16.7%	230	87.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	46	112	+66	+141.7%	140	80.2%
為替レート USD/JPY	109	106			106	

第3四半期累計期間の業績は、新型コロナウイルスによる様々な産業での需要低迷の影響を受け、売上高、営業利益は前年同期比で減収減益となりましたが、自動車生産などの需要回復に伴う販売数量の増加や、徹底したコストダウンに取り組んだことにより、2020年11月に発表した通期予想の想定を上回る収益となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年度にインフレータ事業などの構造改革に関する特別損失を計上していたことにより、前年同期比で増益となっております。なお、この増益にはポリプラスチック完全子会社化（出資比率55%→100%）による増加分も含まれています。

※ 2020年11月6日に発表した業績予想です。

## セグメント別 売上高・営業利益（第3四半期累計 前年同期比）

（単位：億円）

売上高	20/3 3Q実績	21/3 3Q実績	増減	増減率	分析		
					数量差	単価差	単価差の内 為替影響
メディカル・ヘルスケア	116	120	+4	+3.1%	+13	△ 10	△ 2
スマート	191	176	△ 16	△ 8.1%	△ 18	+2	△ 1
セイフティ	580	467	△ 113	△ 19.5%	△ 101	△ 11	△ 7
マテリアル	814	749	△ 65	△ 8.0%	△ 14	△ 51	△ 12
エンジニアリングプラスチック	1,345	1,212	△ 133	△ 9.9%	△ 92	△ 41	△ 16
その他	82	91	+9	+10.8%	+9	-	-
合計	3,128	2,814	△ 314	△ 10.0%	△ 203	△ 112	△ 38

営業利益	20/3 3Q実績	21/3 3Q実績	増減	増減率	分析			
					数量影響	価格影響	価格影響の内 為替影響	その他
メディカル・ヘルスケア	13	12	△ 1	△ 8.1%	+5	△ 7	△ 1	+2
スマート	28	21	△ 7	△ 26.2%	△ 9	+11	△ 1	△ 9
セイフティ	30	6	△ 24	△ 81.2%	△ 70	△ 1	△ 0	+47
マテリアル	109	109	△ 1	△ 0.8%	△ 16	△ 3	△ 6	+18
エンジニアリングプラスチック	160	140	△ 20	△ 12.3%	△ 28	+17	△ 7	△ 9
その他	4	13	+9	+204.3%	+9	-	-	-
全社	△ 119	△ 113	+6	+4.7%	-	-	-	+6
合計	226	187	△ 39	△ 17.3%	△ 109	+17	△ 15	+53

## 事業の状況

当第3四半期期間（10～12月）は、新型コロナウイルスの影響が続くものの、需要は想定より回復

メディカル・ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>化粧品原料の1,3BGの市場環境に大きな変化はなく、上期並みの状況で推移。</li> <li>キラル分離事業は、キラルカラムの販売が計画より増加。</li> </ul>
スマート	<ul style="list-style-type: none"> <li>液晶パネル市場が回復基調にあり、液晶フィルム用酢酸セルロースの販売は、計画より増加。</li> <li>IC/半導体事業は、堅調な半導体市場と回復基調にある液晶パネル用途の需要増加により、計画より増加。</li> </ul>
セイフティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>インフレータの販売数量は、自動車生産の回復により計画より増加。</li> </ul>
マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> <li>酢酸の販売は、需要の回復と市況の上昇により、計画より増加。</li> <li>アセテート・トウの販売は、ほぼ計画通り推移。</li> <li>カプロラクトン誘導体やエポキシ化合物などは、需要が堅調に推移しており、計画より増加。</li> </ul>
エンジニアリングプラスチック	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車、電子部品の需要が想定より回復し、販売数量は計画より増加。</li> </ul>

## 2021年3月期 通期業績予想の修正

(単位：億円)

	20/3 実績	21/3 前予想(※)	21/3 見直予想	前年度比		前予想比	
				増減	増減率	増減	増減率
売上高	4,128	3,680	3,880	△ 248	△6.0%	+200	+5.4%
営業利益	296	220	280	△ 16	△5.5%	+60	+27.3%
経常利益	318	230	295	△ 23	△7.2%	+65	+28.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	50	140	180	+130	+261.6%	+40	+28.6%
為替レート USD/JPY	109	106	106				

事業環境は依然として先行きが不透明な状況が続いていますが、第3四半期までの業績動向と、今後の需要予測、販売価格の是正状況などを考慮し、業績予想を見直しました。

※ 2020年11月6日に発表した業績予想です。

## セグメント別 売上高・営業利益

(単位：億円)

売上高	20/3 実績	21/3 前予想 (※)	21/3 見直予想	前年度比		前予想比	
				増減	増減率	増減	増減率
メディカル・ヘルスケア	151	150	155	+4	+2.7%	+5	+3.3%
スマート	253	220	250	△ 3	△ 1.4%	+30	+13.6%
セイフティ	748	610	670	△ 78	△ 10.4%	+60	+9.8%
マテリアル	1,094	990	1,005	△ 89	△ 8.1%	+15	+1.5%
エンジニアリングプラスチック	1,761	1,580	1,675	△ 86	△ 4.9%	+95	+6.0%
その他	121	130	125	+4	+3.5%	△ 5	△ 3.8%
合計	4,128	3,680	3,880	△ 248	△ 6.0%	+200	+5.4%

営業利益	20/3 実績	21/3 前予想 (※)	21/3 見直予想	前年度比		前予想比	
				増減	増減率	増減	増減率
メディカル・ヘルスケア	13	12	15	+2	+12.0%	+3	+25.0%
スマート	34	22	30	△ 4	△ 10.4%	+8	+36.4%
セイフティ	33	12	25	△ 8	△ 24.3%	+13	+108.3%
マテリアル	158	133	150	△ 8	△ 5.2%	+17	+12.8%
エンジニアリングプラスチック	209	179	195	△ 14	△ 6.7%	+16	+8.9%
その他	8	16	15	+7	+84.3%	△ 1	△ 6.3%
全社	△ 159	△ 154	△ 150	+9	+5.5%	+4	+2.6%
合計	296	220	280	△ 16	△ 5.5%	+60	+27.3%

※ 2020年11月6日に発表した業績予想です。



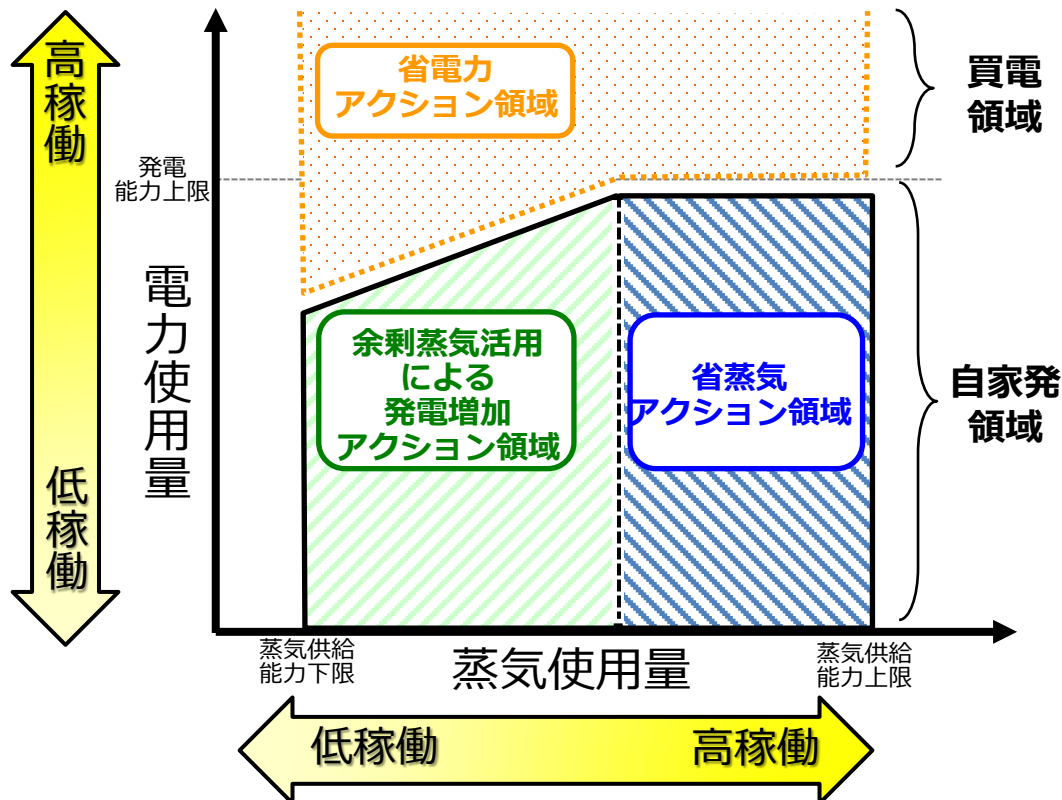
## ポリプラスチック富士工場「F-BASE」運営開始（2021年1月）



F-BASEでは、工場各所に分散している部門（運転・保全・技術・検査・物流・安全）を一つのフロアに集約し、ものづくりの英知を結集させることで、イノベーションを引き起こし、さらなる品質向上、生産安定化を実現します。  
また、開かれた工場として研究部門とベンダーとの交流を促すことで、F-BASEを起点とする技術革新の誕生につなげていきます。

## 徹底したコストダウン

期初に計画したコストダウンに加え、修繕計画の見直しなどテーマを上積みしており、期初計画107億円に対して、通期の実績予想では152億円を目論んでいます。また、需要減少に伴う稼働率低下に合わせ、省蒸気・省電力のアクションを切り替えるとともに、余剰電力による拠点間の電力託送や売電とも組み合わせ、稼働状況に応じた柔軟なコストダウン施策を実現しております。



- 【稼働に応じたアクション】
- ◇低稼働時：  
蒸気が余剰となるため、発電に回し、自己託送や電力販売へ利用する
  - ◇高稼働時：  
省蒸気アクションを実施する
  - ◇買電領域：  
購入電力費用を削減するため、省電力アクションを実施する

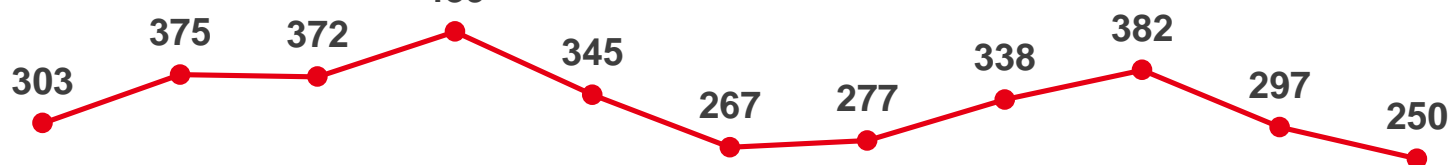
稼働状況によらない安定したコストダウンアクションが可能

# 参考資料

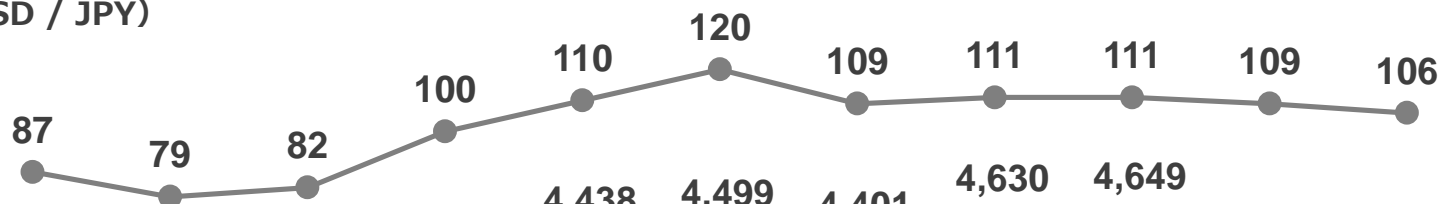
## 売上高・営業利益の推移・予想

(単位：億円)

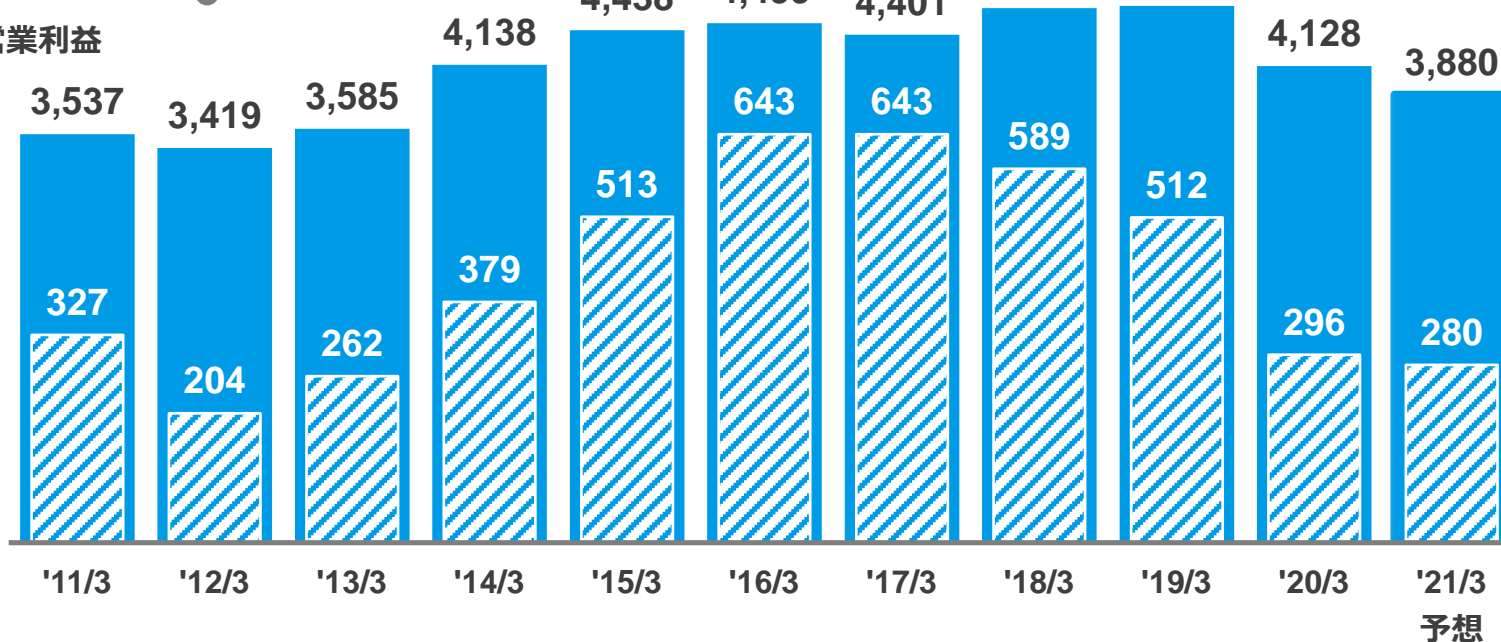
● メタノールアジアスポット価格 (USD / ton)439



● 為替レート (USD / JPY)



■ 売上高 / 営業利益



## 連結貸借対照表

(単位：億円)

		20年 3月末	20年 12月末	増減	備考
流動資産		2,980	2,906	△ 75	
	現預金及び有価証券	814	794	△ 19	
	受取手形及び売掛金	795	901	+106	
	棚卸資産	1,174	1,028	△ 147	
	その他	197	182	△ 15	
固定資産		3,000	3,194	+194	
	有形固定資産	2,043	2,148	+104	新規取得+292、償却△176、その他△12
	無形固定資産	134	123	△ 11	
	投資その他資産	822	923	+101	
資産合計		5,980	6,099	+119	
負債		2,054	3,882	+1,828	
	有利子負債	928	2,788	+1,860	社債+1,000、短期借入金+686、長期借入金+177
	その他	1,126	1,094	△ 33	
純資産		3,926	2,218	△ 1,708	自己資本比率 35.3%
負債純資産 合計		5,980	6,099	+119	

## 連結損益計算書

(単位：億円)

	20/3 3Q累計	21/3 3Q累計	増減	増減率	備考
売上高	3,128	2,814	△ 314	△10.0%	
売上総利益	837	766	△ 70	△8.4%	
販売費及び一般管理費	610	579	△ 31	△5.1%	
営業利益	226	187	△ 39	△17.3%	
営業外損益	16	15	△ 1	△8.6%	
経常利益	243	202	△ 41	△16.7%	
特別損益	△ 121	△ 11	+110	-	減損損失+119
税金等調整前 四半期純利益	122	191	+70	+57.1%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	46	112	+66	+141.7%	
営業利益率	7.2%	6.7%	△0.5%		

## 2021年3月期通期業績予想

(単位：億円)

		21/3 前回発表業績予想 (※)			21/3 見直し通期業績予想			増減
		上期実績	下期予想	年間	上期実績	下期予想	年間	
	メディカル・ヘルスケア	78	72	150	78	77	155	+5
	スマート	103	117	220	103	147	250	+30
	セイフティ	272	338	610	272	398	670	+60
	マテリアル	493	497	990	493	512	1,005	+15
	エンジニアリングプラスチック	747	833	1,580	747	928	1,675	+95
	その他	61	69	130	61	64	125	△ 5
売上高		1,753	1,927	3,680	1,753	2,127	3,880	+200
	メディカル・ヘルスケア	8	4	12	8	7	15	+3
	スマート	10	12	22	10	20	30	+8
	セイフティ	△ 17	29	12	△ 17	42	25	+13
	マテリアル	75	58	133	75	75	150	+17
	エンジニアリングプラスチック	82	97	179	82	113	195	+16
	その他	9	7	16	9	6	15	△ 1
	全社	△ 77	△ 77	△ 154	△ 77	△ 73	△ 150	+4
営業利益		91	129	220	91	189	280	+60
経常利益		102	128	230	102	193	295	+65
親会社株主に帰属する当期純利益		33	107	140	33	147	180	+40
(参考) 為替レート USD/JPY		107	105	106	107	105	106	

※ 2020年11月6日に発表した数値です。

## 前提条件

		2020/3		2021/3		
		上期実績	下期実績	上期実績	下期 前回計画 (※)	下期 見直計画
為替レート (USD/JPY)		109	109	107	105	105
原料	メタノール アジアスポット価格 (USD/ton)	277	245	205	200	297
	原油 ドバイ (USD/bbl)	64	56	37	45	46
	国産ナフサ (円/kl)	42,800	42,700	27,500	30,000	32,000

※ 2020年11月6日に発表した通期業績予想の前提条件です。



## 2021年3月期以降 開示セグメントの概要

### 新セグメント／組織

### 主な製品／旧セグメント

新セグメント／組織		主な製品／旧セグメント		
メディカル・ヘルスケア	ヘルスケアSBU	コスメBU 健康食品BU	化粧品原料（1,3-BG、ポリグリセリン類） 健康食品（エクオール、セラミド）	有機合成
	CPIカンパニー	Analytical Tools BU	キラルカラム、高純度キラル試薬	その他
	事業創出本部	新事業開発部	製剤ソリューション（プレミックス添加剤）	
	スマート	スマートSBU	ディスプレイBU IC/半導体BU センシングBU	液晶保護フィルム用酢酸セルロース 高機能光学フィルム 半導体レジスト、電子材料向け溶剤 光学デバイス、有機半導体デバイス
セイフティ	セイフティSBU	モビリティBU インダストリーBU	樹脂コンパウンド製品（自動車用途） 自動車エアバッグ用インフレーター イニシエータ、PGG、民生用火工品	合成樹脂 火工品
マテリアル	マテリアルSBU	アセチルBU ケミカルBU	酢酸セルロース（液晶保護フィルム用途以外） アセテート・トウ 酢酸、酢酸誘導体 エポキシ化合物、カプロラクトン誘導体、各種化学品	セルロース 有機合成
エンジニアリングプラスチック	ポリプラスチックス ダイセルミライズ DMノバフォーム ダイセルパックシステムズ		エンジニアリングプラスチック 樹脂コンパウンド製品（自動車用途以外） 樹脂成型加工品（シート、食品包装用フィルム） 水溶性高分子	合成樹脂 セルロース
その他	ダイセンメンブレンシステムズ セイフティSBU	特機事業部	メンブレン製品 防衛関連製品	その他 火工品

- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ご使用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

本資料の著作権は株式会社ダイセルに帰属します。  
いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

化学で  
未来を  
変えるの **ダ**